

## 本研修の目的

教師海外研修は、開発途上国を実際に訪問することにより、開発途上国の置かれている状況や課題、日本と途上国の関係、国際協力の実情について理解を深めること、および、海外研修で得た経験を、次代を担う児童・生徒への国際理解教育・開発教育に役立ててもらうことを目的としています。

また、本研修参加後は、JICA 東北・JICA 二本松と連携し、教育現場・地域において国際理解教育・開発教育の推進のため協力いただくことを期待しています。

## 対象

青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校に勤務する教員。(国立・公立・私立の別は問いません)

## 主催

独立行政法人 国際協力機構 東北センター (JICA 東北)、二本松青年海外協力隊訓練所 (JICA 二本松)

## 後援

外務省、文部科学省、青森県教育委員会、岩手県教育委員会、秋田県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会、仙台市教育委員会

## 一年の流れ

研修	場所	日時	内容
第一次事前研修	オンライン	2025 年 6月21日(土)	JICA 事業概要・研修概要説明(全国合同)、研修国事情等の説明(日程・安全管理)、チームビルディング、開発教育講座など
第二次事前研修	JICA 東北	2025 年 7月12日(土)~13日(日)	開発教育手法体験、過年度参加教員による教材や授業実践紹介、海外研修視察先紹介等
海外研修	ザンビア	2025 年 7月26日(土)~8月4日(月)	JICA 事業の視察および関係者との交流、現地の学校訪問、教育関係者との意見交換、教材等の収集など
帰国後研修	JICA 東北	2025 年 9月6日(土)~7日(日)	授業実践に向けた授業案の発表・検討、教材開発など
授業実践	各所属校	2025 年 9月下旬~12月中旬	研修で得た情報・体験を基にした授業実践
事後研修	JICA 東北	2026 年 1月18日(日)	授業実践報告、振り返り、意見交換会など

## 2025年度 教師海外研修 参加者リスト

No	氏名	県	学校名	校種	担当教科（専門分野）
1	行場 二千佳	宮城県	登米市立佐沼小学校	小	全科
2	綾田 早笑	宮城県	仙台市立福室小学校	小	全科
3	相澤 伊織	宮城県	仙台市立愛宕中学校	中	社会科
4	田村 勝太	宮城県	石巻高等学校	高	地歴公民（地理）
5	杉浦 瑞穂	宮城県	松島高等学校	高	外国語（英語）
6	門脇 賢吾	宮城県	第二工業高等学校	高	公民／倫理
7	山岸 さくら	山形県	新庄南高等学校	高	英語
8	鈴木 暢恵	山形県	九里学園高等学校	高	地歴公民
9	星 菜々	福島県	会津若松市立一箕小学校	小	全科
10	伊澤 智佳子	福島県	郡山市立郡山第七中学校	中	英語

### 開発教育ファシリテーター

1	鈴木 精	山形県	九里学園高等学校
---	------	-----	----------

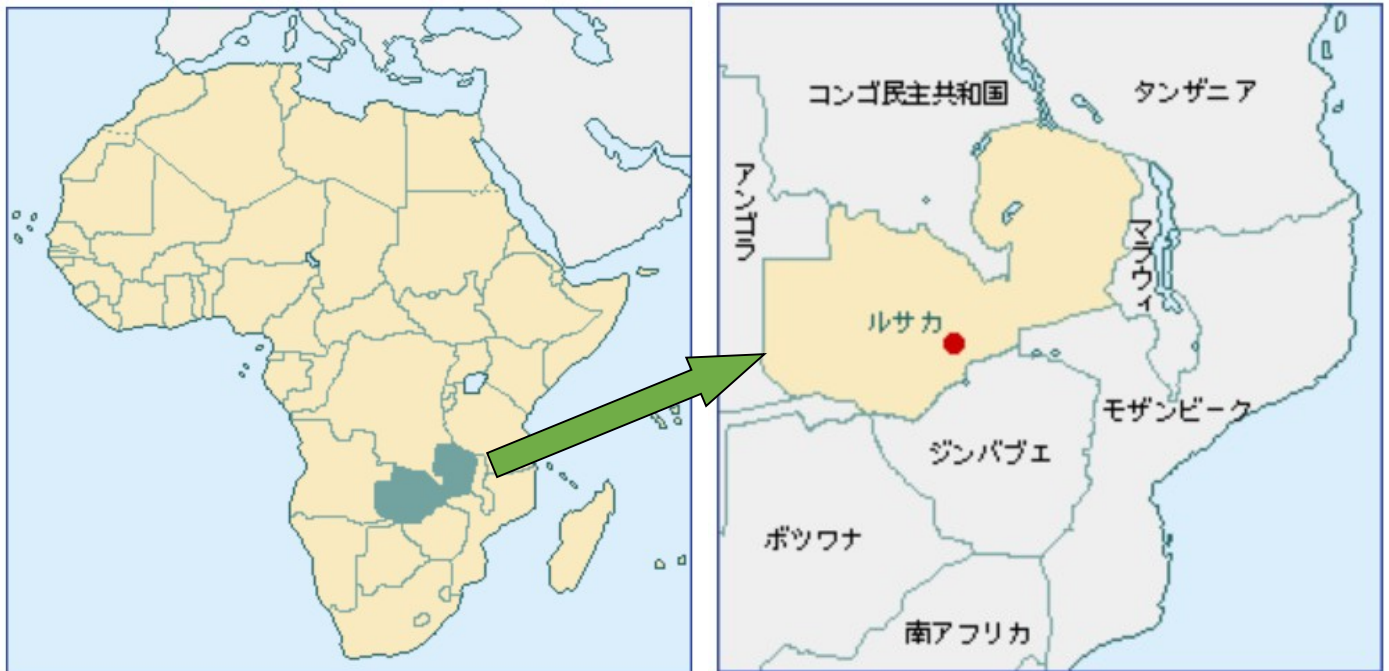
### 業務調整

1	島田 潤悦	JICA 東北 市民参加協力課
---	-------	-----------------



<ザンビア共和国>

出典：外務省ホームページ



一般事情

1. 面積 752.61 千平方キロメートル（日本の約 2 倍）
2. 人口 2,131 万人（2024 年：世銀）
3. 首都 ルサカ（海拔 1,272 メートル）
4. 民族 73 部族（トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系）
5. 言語 英語（公用語）、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語
6. 宗教 8 割近くはキリスト教、その他（イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教）
7. 主要産業 鉱業（銅、コバルト等）、  
農業（トウモロコシ、綿花、タバコ、大豆）、観光
8. GDP(国内総生産) 263 億米ドル（2024 年：世銀）
9. 一人当たり GNI 1,260 米ドル（2024 年：世銀）



## 海外研修日程

日数	日付	曜日	内容	宿泊先
1	7月26日	土	成田空港集合、出国	機内泊
2	7月27日	日	ドーハ経由・ルサカ空港到着、チャーチサービス視察、ホテルへ移動	ルサカ
3	7月28日	月	JICA ザンビア事務所にてブリーフィング、在ザンビア日本大使館表敬訪問	ルサカ
			Matero General Hospital 視察（小越美佳隊員：病院運営管理）	
4	7月29日	火	Destiny コミュニティスクールにて児童生徒と交流、昼食会、市場やコンパウンドの視察	ルサカ
5	7月30日	水	ゴミ処分場視察、モンゼへ移動	モンゼ
			Zambia WASHE Advocacy Network の活動対象である村を視察（森本衣美隊員：コミュニティ開発）	
6	7月31日	木	St. Vincent de Paul Community School にて児童生徒と交流（山崎優子隊員：PC インストラクター）	リビング
			リビングストーンへ移動	ストーン
7	8月1日	金	カズングラ橋、ザンビア・ボツワナ国境の通関施設等を視察	リビング
			リビングストーン博物館視察	ストーン
8	8月2日	土	ヴィクトリアの滝視察	機内泊
			リビングストーン空港より出国・ヨハネスブルグ空港乗継	
9	8月3日	日	ドーハ経由・羽田空港着、近隣ホテルへ移動	東京
10	8月4日	月	それぞれの自宅へ移動	